

他のワクチンとの接種間隔について

- 新型コロナワクチンについては、他のワクチンとの接種間隔について、臨時予防接種実施要領において、インフルエンザを除いて他の予防接種との間隔を13日以上あけることとされている。
- 定期の予防接種に係る他のワクチンとの接種間隔については、定期接種実施要領において、以下のとおり規定されている。
 - ・注射生ワクチン以外のワクチンにおいては、接種間隔の定めはなく
 - ・同時接種は医師が特に必要と認めた場合に行うことができること。

新型コロナウイルス感染症に係る 臨時の予防接種実施要領

前後に他の予防接種（インフルエンザの予防接種を除く。）を行う場合においては、原則として13日以上の間隔をおくこととし、他の予防接種（インフルエンザの予防接種を除く。）を同時に同一の接種対象者に対して行わないこと。

(参考) 予防接種実施要領

- (1) 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン、乾燥弱毒生麻しんワクチン、乾燥弱毒生風しんワクチン、経皮接種用乾燥BCGワクチン又は乾燥弱毒生水痘ワクチンを接種した日から、乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン、乾燥弱毒生麻しんワクチン、乾燥弱毒生風しんワクチン、経皮接種用乾燥BCGワクチン又は乾燥弱毒生水痘ワクチンの予防接種（同一種類のワクチンを接種する場合において、接種の間隔に関する定めがある場合は、その定めるところによる。）を行うまでの間隔は、27日以上おくこと。
- (2) 2種類以上の予防接種を同時に同一の接種対象者に対して行う同時接種（混合ワクチン・混合トキソイドを使用する場合は、1つのワクチンと数え、同時接種としては扱わない。）は、医師が特に必要と認めた場合に行うことができること。

新型コロナワクチン以外のワクチンとの同時接種に関する諸外国の推奨状況①

他ワクチンとの同時接種については、例えばWHOの予防接種に関する戦略諮問委員会（SAGE）や米国疾病予防管理センター（CDC）は具体的に以下のように表明している。



WHO SAGE Roadmap for prioritizing uses of COVID-19 vaccines (2023年11月10日最終更新)

- 他のワクチンとの同時接種について

WHOは、疫学的に正当化される場合には、各国に対し、新型コロナワクチン（変異株含有ワクチンを含む。）と季節性インフルエンザワクチンや他の呼吸器系ワクチンとの同時接種を検討するよう勧告。

新型コロナワクチンのいくつかの同時接種に関する研究に基づいて、また他の成人ワクチンの同時接種に関する研究から推測すると、成人及び青少年向けの他のワクチン（弱毒化生ワクチン、不活化ワクチン、アジュバント添加ワクチン、またはアジュバント非添加ワクチンを含む）と同時に、またはその前後でいつでも新型コロナワクチンを投与できる。妊娠中に推奨されるワクチンに対する母親の予防接種も同様。



Interim Clinical Considerations for Use of COVID-19 Vaccines in the United States (2024年1月18日最終更新)

- 新型コロナワクチンと他のワクチンの同時接種

医療機関受診時に禁忌がない場合、小児、青少年、成人に対して、年齢に応じた全用量のワクチンを同時接種することを推奨。同時接種は、同じ診療日に複数のワクチンを異なる解剖学的部位に投与し、同じ注射器内で組み合わせて投与しないことと定義される。

出典：[WHO SAGE Roadmap for prioritizing uses of COVID-19 vaccines: An approach to optimize the global impact of COVID-19 vaccines, based on public health goals, global and national equity, and vaccine access and coverage scenarios](#)、[Clinical Guidance for COVID-19 Vaccination | CDC](#) に基づき該当箇所を抜粋、事務局で仮訳。

新型コロナワクチン以外のワクチンとの同時接種に関する諸外国の推奨状況②

諸外国においては、新型コロナワクチンと季節性インフルエンザワクチンの同時接種を認めており、他疾病に対するワクチンとの同時接種についても、可能又は一律の間隔を置くことは求めない取り扱いとしている。

国・地域	基本方針の発出機関	インフルエンザワクチンとの同時接種	他疾病ワクチンとの同時接種	異なるワクチンとの接種間隔に関する基本方針※1
 米国	CDC	可能	可能※2	特段の禁忌がなければ他のワクチンと新型コロナワクチンは同時接種し得る。(CDC、2024/1/18)
 英国	NHS/ UKHSA	可能	可能	季節性インフルエンザワクチンと同時接種し得る。(NHS、2023/11/23) 他ワクチンの接種を遅らせないことが望ましく、同時接種の対象は一般に接種されるワクチンを含む。(UKHSA、2023/9/4)
 カナダ	NACI	可能	可能	生後6か月以上の者に対して、新型コロナワクチンは他ワクチン（生ワクチン、不活化ワクチンを含めて）との同時接種を含めて前後どの時期でも接種し得る。(NACI、2023/12/15)
 フランス	保健省	可能	(記載なし)	新型コロナワクチン及び季節性インフルエンザワクチンの接種対象である者は、2つのワクチンを同時接種し得る。(保健省、2023/10/4)
 ドイツ	RKI/ STIKO	可能	不活化ワクチンは可能	新型コロナワクチンと不活化ワクチンは同時接種し得る。(RKI/STIKO、2023/12/14)
 イスラエル	保健省	可能	(記載なし)	季節性インフルエンザワクチンと同時接種し得る。(イスラエル保健省、2024/1/25)
 国際連合	WHO	可能	可能※3	季節性インフルエンザワクチン又は他の呼吸器感染症ワクチンの同時接種を各国は検討すべき※3。 成人及び青年を対象とした他のワクチン（生、不活化、アジュバント添加アジュバント非添加を含む）と同時接種し得る。(SAGE、2023/11/10)
 EU	EMA	可能	(記載なし)	季節性インフルエンザワクチンと同時接種し得る。(ECDC-EMA、2023/6/6)

方向性（案）

- 他のワクチンとの接種間隔については、諸外国の状況も踏まえ、注射生ワクチン以外のワクチンと同様の取扱いとしてはどうか。

※1 発出日又は最終更新日を記載。 ※2 エムボックスなどのオルソボックスウイルスに対するワクチンとの同時接種については臨床的検討が必要としている。
 ※3 WHOは、新型コロナワクチンと季節性インフルエンザワクチン又は他の呼吸器感染症ワクチンとの同時接種については年齢層を限定せず、各国が検討すべきとしている。
 Source: CDC, NHS, UKHSA, NACI, フランス保健省, RKI, STIKO, イスラエル保健省, WHO, ECDC-EMA